土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	東側交通・交流拠点整備（原地区）に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	港湾　盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	1(別孔)	調査位置	広島県福山市蔵町後地地先			北緯	34° 23′ 30.6100″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年11月 2日～ 令和3年11月10日			東経	133° 22′ 50.8200″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 2.93m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	14.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1型	エンジン	ヤンマーディゼルNFD-10	ポンプ 東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図 (0 10 20 30 40 50 60)	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	2.83	0.10		アスファルト		黒灰			駐車場の舗装部。															
	2.73	0.20		砕石		灰			良く締まった砕石。															
1				玉石混り砂礫		灰～褐灰			φ100～150mmの玉石、コンクリート片を有する。 礫は30～50mm程度の円礫主体である。															11/2
2	0.93	2.00																						
3				粘土質砂礫		黄褐灰			含水は多い。 2～40mm程度の亜円礫を有する。 また、60～100mm程度の亜円礫～円礫が点在する。															
4	-1.17	4.10																						
5				玉石混り砂礫		黄褐灰			含水は中位。 φ150～200mmの玉石が点在する。玉石は非常に硬質である。 礫は5～40mm程度の円礫を主体とする。															11/3
6	-3.57	6.50																						
7				砂礫		暗灰			含水は多い。 GL-6.50m～GL-7.40mに貝殻細片を混入する。 礫は亜角礫～角礫主体であり、大きさは2～50mm程度である。 砂分は細砂である。															11/4
8																								
9																								
10	-7.67	10.60																						
11	-8.87	11.80		粘土質砂		暗灰			含水は少ない。 10mm程度の亜円礫を少量混入する。 細砂を少量混入する。											11.00 11.30	D-1	Ⓓ	土粒子の密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界 圧密、一軸圧縮試験	
12	-9.87	12.80		粘土混り砂礫		暗灰			礫は亜角礫を主体とし、大きさは20～30mm程度である。 マトリックスは微細～細砂である。															
13	-10.52	13.45		礫混り砂質粘土		暗灰			含水は多い～中位。 礫は角礫主体で大きさは2～40mm程度である。 層厚100～150mmの薄層状に砂礫を多く含む部分を有する。											13.20 13.65	D-2-1	Ⓓ		
14	-11.07	14.00		粘土混り砂礫		暗灰			含水は少ない。 礫は円礫～亜円礫を主体とし、大きさは30～50mm程度である。											13.90 14.00	D-2-2	Ⓓ		11/5
15																								
16																								